

2017年2月（日本国大使館）

安 全 情 報

～邦人の犯罪被害状況～

「自分の身は自分で守る。」をモットーにカンボジアライフを楽しく、良い思い出をつくるため、安全情報を提供させていただきます。

1 カンボジア国内における邦人の犯罪被害状況

昨年中（2016年1月～12月）、当館で認知した邦人の犯罪被害件数は計 103件（2015年中の認知は89件）でした。内訳は以下のとおりです。

(1) ひったくり 64件（2015年中の認知は48件）

- 男女別被害者数
男性 48人／女性 16人
- 在留・短期渡航者別被害者数
在留邦人 26人／短期渡航者 38人
- 発生地域別被害件数
プノンペン都 62件／シェムリアップ州 2件
- 移動形態別被害件数
 - ・ 徒歩で移動中 29件
 - ・ トゥクトゥクで移動中 27件
 - ・ 自転車で移動中 3件
 - ・ オートバイで移動中 4件
 - ・ 停車中の車の車内 1件
- 犯人の犯行時の状況
 - ・ 1人乗りオートバイに乗車 24件
 - ・ 2人乗りオートバイに乗車 39件
 - ・ 3人乗りオートバイに乗車 1件

※ ひったくり事件では、ナイフで腕を切りつけられたり、トゥクトゥクから転落させられて引きずられるなど、凶悪な態様のものが発生しています。鞆を持ち歩かない、荷物を持つ場合はメータータクシーを利用するなど、とにかく狙われない対策を講じてください。

※ 被害品の中に旅券が入っていたケースは56件でした。

旅券を紛失した場合、警察への届出、大使館への旅券又は帰国のための渡航書の発給申請、カンボジア入国管理局での出国許可取得等の諸手続きが必要となります。また、身分を証明することができないことから当国当局との無用のトラブルに巻き込まれるおそれがありますので、旅券を紛失しないよう携行方法や保管方法等に注意し、適切に管理をしてください。

(2) いかさま賭博詐欺 19件 (2015年中の認知は20件)

- 男女別被害者数
男性 13人／女性 6人
- 在留・短期渡航者別被害者数
在留邦人 0人／短期渡航者 19人
- 発生地域別被害件数
プノンペン都 19件／シェムリアップ州 0件
- 犯人の性別
 - ・ 男性 4人／女性 15人

※ 犯人は、自称マレーシア人、シンガポール人、インドネシア人等を名乗ることが多く、必ず日本人であることを確認してきます。また、具体的な声かけ事例としては以下のようなものがありますので注意してください。

- ・ 「これから家でご飯を食べないか。」
- ・ 「家で誕生日会をするので一緒にどうか。」
- ・ 「以前、日本に住んでいた妹が友人から日本語の手紙を受け取ったが、読めないため、家に来て手紙を読んでほしい。」
- ・ 「今度妹が日本に行くので相談に乗ってほしい。」
- ・ 「これから日本で働くから漢字を教えてほしい。」
- ・ 「これから介護の仕事で日本に行くので日本のことをいろいろ教えてほしい」

(3) 強盗 6件 (2015年中の認知は1件)

- 男女別被害者数
男性 6人／女性 0人
- 在留・短期渡航者別被害者数
在留邦人 0人／短期渡航者 6人
- 発生場所
プノンペン都 6件／シェムリアップ州 0件

※ 旅行者が、当地で知り合った外国人（自称イラン人やトルコ人）とレストランやバー等で飲酒し、酩酊状態とさせられた上、財布等を抜き取られるという昏睡強盗事件が発生しています。外国人との交友関係を広げるといことは、海外旅行の楽しみの一つでもあります。くれぐれも初対面の相手に警戒心を全て解き放つことのないよう気をつけてください。

(4) その他 14件

上記のほか、侵入盗（4件）、置き引き（6件）、スリ（3件）、オートバイ盗（1件）の被害が、大使館に報告されています。

2 犯罪被害防止対策

(1) 路上・店内犯罪（強盗、ひったくり、すり、置き引き）被害防止対策

ア 徒歩による移動中において

- 外を歩く際は、鞆等を持たない。
- 鞆等を携行する場合は、メータータクシーを利用する。
- やむを得ず鞆を持ち歩く場合は、たすき掛けにした上、体の前で把持する（鞆は、肩に掛けているとひったくられやすく、また、たすき掛けにした場合はひったくられた際に、負傷する可能性が高い。）。
- 夜間の徒歩による外出はできる限り避ける。
- トートバッグ等の中が見られやすいバッグは使わない。
- ズボンの後ろポケットに財布を入れない。
- 外出中は不審者や尾行者がいないか時々確認し、不審者等がいるのを確認したら、子供であっても油断せず、人が大勢いる商店等に待避してやり過ごす。
- 女装した男性や子供による抱きつきすりも報告されていることから、近付いてくる女性や子供を安易に受け入れない。

イ 車両（トゥクトゥク）による移動について

- 移動は出来る限り自家用車又はメータータクシーを利用し、なるべくトゥクトゥクは利用しない。モトドップ（オートバイタクシー）は交通事故の危険性もあることから極力利用しない。
- トゥクトゥクを利用する場合には、出来れば利用したことのある信頼できるドライバーに依頼する。あるいは、ホテルやレストランの従業員に顔見知りの運転手を呼んでもらう。
- 乗車してからも気を抜かず、指示と異なる方向に向かっていないか常に周囲の様子を確認する。
- 乗車中、鞆等を人目に付きやすい車内の椅子の上や膝上に置かず、しっかりと把持するとともに、常に周囲（特に後方）への警戒を怠らない。

ウ レストラン等の店内において

- 席を離れる時は、鞆等をその場に放置しない。
- 鞆等を隣のイスやイスの下等に置かず、膝の上やたすき掛けにして持つなど、常に体から離さないようにする。

(2) 侵入盗被害防止対策

- 出入口ドアに鍵（チェーンロックも取り付け）を2個以上備え、外出・就寝時は確実に施錠する。
- 外出中でも部屋に貴重品を出したままにしない。必ず施錠した金庫等に入れておく。
- 高層階だからと過信せず、外出・就寝時には窓にも施錠する。
- 入居する際、警備員が常駐して防犯カメラ等の警備設備の整っている物件を選定する。

(3) いかさま賭博防止対策

- 旅行中や滞在先に知り合った見知らぬ人の誘いに応じて一緒に行動したり、宿泊や食事を一緒にしたりしない。
- 知り合った人物に安易に自分の宿泊先や連絡先、滞在先を教えない。

カンボジアは、過去と比較して安全になったイメージがありますが、凶悪なものを含む犯罪が依然として頻繁に発生しています。「日本とは違う」ということを常に念頭に置き、「自分の身は自分で守る」との基本意識を持って、自身の安全確保に努めてください。